

《野田の童謡作曲家・山中直治を歌い継ぐ》

山中直治コンサート 3年ぶりの開催

～市内小学校の合唱部も出演～

野田市郷土博物館では、郷土の童謡作曲家・山中直治の音楽を市民に広く知ってもらうため、3月11日（土）13時30分から、櫛のホール小ホールで「山中直治コンサート」を開催する。出演は、山中直治の童謡を歌い継いできた山中直治を歌う会を中心とした市内有志のメンバー約30人のほか、今回は野田市立中央小学校及び南部小学校の合唱部に所属する児童で、練習の成果を披露する。

また、コンサートの開催にあわせて、3月4日（土）から16日（木）まで、櫛のホール（生涯学習センター）のギャラリーにて、当館が所蔵する山中直治ゆかりの資料などを展示する。

山中直治（やまなかなおじ）は、梅郷村（現・野田市山崎）出身の童謡作曲家である。明治39年（1906）生まれ、昭和12年（1937）没。野田町立野田小学校（現・野田市立中央小学校）で教師を勤めるかたわら、31歳の若さで他界するまで200曲以上もの童謡を作曲した人物であり、童謡「かごめかごめ」の採譜を行った人物としても知られる。

本コンサートは、これまで野田市郷土博物館を会場として開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、中止を余儀なくされてきた。今年は会場を櫛のホールへと移したうえで、山中直治を歌う会のほか、新たに野田市立中央小学校及び南部小学校合唱部の児童も参加して、山中直治が作曲した童謡「文福茶釜」「こんこん小山の白狐」などを歌う。南部小学校の前身は山中直治の出身校である梅郷尋常高等小学校であり、山中直治の後輩たち、そして山中直治の教え子の後輩たちが日ごろの練習の成果を披露する。

また、コンサートの開催にあわせて、会場となる小ホールの入り口につながる生涯学習センター・ギャラリーにおいて、約2週間にわたり郷土博物館が所蔵する山中直治が使用したと伝わる机や燕尾服といった山中直治ゆかりの資料などを展示する。

●山中直治コンサート

【日時】令和5年3月11日（土）13時30分開演（13時開場）

【会場】櫛のホール（生涯学習センター）・小ホール

【費用】無料（当日会場受付）

【出演】山中直治を歌う会、中央小学校合唱部、南部小学校合唱部

【曲目】文福茶釜、雲の押しくら、こんこん小山の白狐、野田音頭など

●博物館出張ミニ展示 山中直治展

【期間】令和5年3月4日（土）～16日（木）

【会場】生涯学習センター2階ギャラリー

【費用】無料

問合せ＝野田市郷土博物館・直通 04-7124-6851

野 田 市